



どのような未来を目指すための事業か

豊富な観光資源を活かした更なる観光振興を促すため

バイパス道路をつくります

地元の声

- ・観光地である尾瀬へ向かう道路を円滑に通行できるようにしてほしい。(道路利用者)
- ・見通しが悪く事故が発生しているため、カーブをゆるくしてほしい。(地元住民)
- ・道幅が狭く大型車とのすれ違いが危険なため、道幅を広げてほしい。(地元住民)

事業前

◆道路の見通しが悪く、道路幅員も狭いため、大型車のすれ違いが困難であり、円滑な通行に支障があります。



事業前の状況

事業後

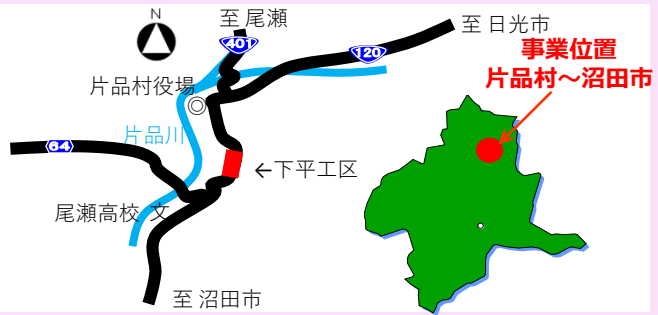
◆バイパス整備により急カーブを解消するとともに、道幅が広く、見通しのよい道路とすることで、円滑な通行を確保します。



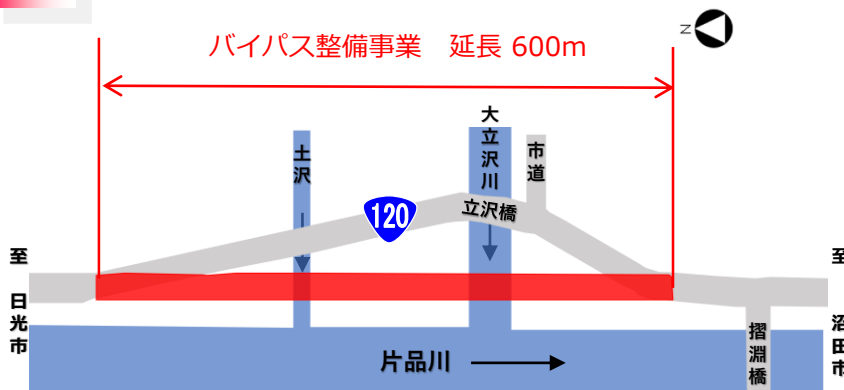
事業後のイメージ (一例)

事業の概要

- 事業箇所：片品村下平～沼田市利根町平川
- 事業内容：バイパス整備
延長0.6km 道路幅10.25m
- 事業期間：令和元年度～



事業の進捗状況 (令和6年3月末現在)



今、何をしているか

令和6年度は、用地買収を行い、盛土や構造物の工事を行います。



事業のすすみ具合

事業開始 ●



● 事業完了